

4ーよくあてはまる 3ーあてはまる 2ーあまりあてはまらない 1ー全くあてはまらない(上段；R5年度 中段；R6年度 下段；R7年度)

観点	内容（保護者の質問は教師に準じる）	教師	生徒	保護者	委員	学校意見等；（○よい●課題◎改善点） 運営委員意見等；※（取組・行事等）	今後の改善方法等
キャリア教育及びふるさと教育の視点に立った学習指導の充実	<p>1 <b>生徒</b>－将来の夢や希望をもって学習していますか。</p> <p><b>教師</b>－生徒が夢や希望をもてるよう指導していますか。</p> <p>【評価目標 3】</p>	2.5	2.7	2.3	2.5	<p>○3年間のキャリア教育を通して、段階的に生徒の資質・能力・態度を高めることに取り組み、将来の夢や希望をもって生きていく態度の育成につなげることができた。</p> <p>○職場体験学習、高校説明会、進路指導の行事等に取り組み、生徒は今後の人生を考えるよい機会となった。</p> <p>●地域や学校の特色、生徒の実態を踏まえて内容を検討する必要がある。</p> <p>◎進路指導に関する情報のアップデートを早めに行い、最適な指導ができるように対応する必要がある。</p> <p>※将来を考える場や経験(職場体験学習等)について、これからも地域の人と連携して取り組んでほしい。</p> <p>(高校説明会、修学旅行、職場体験学習、夢の教室、立志の集い)</p>	<p>・生徒の実態から、将来を見通したキャリア教育を学校と家庭、地域が連携して取り組む。</p> <p>・3年間を見通したキャリア教育を系統的、持続的に行う。</p>
	<p>2 <b>生徒</b>－授業で「分かる・できる」まで取り組んでいますか。</p> <p><b>教師</b>－授業で「分かる・できる」まで教えていますか。</p> <p><b>保護者</b>－先生は、授業を「分かる・できる」まで教えていると思いますか。</p> <p>【評価目標 3】</p>	2.6	2.7	2.5	2.8	<p>○「生徒の主体的な学びを支え、自立に向かう生徒の育成」（ひなたの学び）についての研修に取り組んだことで、教職員の授業への意識が変わり、生徒自らが意欲的に学習する姿が見られた。</p> <p>○生徒一人一人の学力向上について、少人数指導、TT授業、学習指導員等を積極的に活用することができた。</p> <p>●ICT活用について家庭のインターネット環境や保護者の理解度による格差がある。</p> <p>●基本的な学習習慣の確立と授業方法の改善について職員研修を通して考えていく必要がある。</p> <p>◎教職員のICT活用スキル向上と授業での支援体制の確立が必要である。</p> <p>※ICTを授業で活用する機会が多くなったことで、積極的に授業に参加する生徒が増えたのではないかと考えている。</p> <p>(定期テスト、各種検定試験(英語、漢字、数学、理科)、数学少人数指導、TT授業、学力向上指導員、はげまし隊、ICTの活用)</p>	<p>・キャリア教育を通して生徒に将来の夢や目標を持たせて、授業や家庭学習への意欲を高める。</p> <p>・個に応じた指導を充実させる。</p> <p>・学習の基礎基本の定着について小学校との連携を図る。</p> <p>・ICT研修や実践共有の場を設け、教職員のスキルを高める。</p>
積極的な生徒指導及び心の教育の推進	<p>3 <b>生徒</b>－あいさつや返事がしっかりできていますか。</p> <p><b>教師</b>－生徒はあいさつや返事がしっかりできていますか。</p> <p>【評価目標 3】</p>	2.5	3.4	3.1	2.7	<p>○教師、保護者から元気なあいさつができていると評価が高い。特に登校時には、さわやかなあいさつや会釈する姿が多く見られる。</p> <p>●あいさつや返事については、学年や部活動、さらに生徒間で差がある。</p> <p>◎大人が率先して生徒に挨拶をして、生徒とのコミュニケーションを深める。</p> <p>◎学年や部活動などであいさつの大切さの指導を継続していく必要がある。</p> <p>※地域の方からも元気な挨拶を返してくれると聞いている。</p> <p>(全校専門委員会、生徒集会、全校集会、全校専門委員会)</p>	<p>・生徒会活動によるあいさつ運動を継続的に行い、習慣化を促進する。</p> <p>・学校と地域が連携してあいさつ運動を行う。</p> <p>・大人も生徒もお互いに積極的にあいさつを行う。</p>
	<p>4 <b>生徒</b>－学校の約束（時間・服装・きまり）をしっかりと守っていますか。</p> <p><b>教師</b>－生徒は、学校の約束（時間・服装・きまり）をしっかりと守っていますか。</p> <p>【評価目標 3】</p>	1.6	3.5	2.4	2.2	<p>○生徒会が中心となって学校づくり（学校生活のルールや約束、校則等）を積極的に進めることで、より良い学校をつくる意識を高めることができた。</p> <p>●学校生活のルールや約束、校則等については、現在の社会状況にはそぐわないものがあるのではないかと考えている。</p> <p>◎学校生活のルールや約束について、生徒の発達段階や学校・地域の状況、時代の変化や社会状況等を踏まえて、生徒と一緒に考えていく必要がある。</p> <p>※学校生活のルールや決まり（校則等）について、今後も生徒と一緒に話し合う活動を継続してほしい。</p> <p>(生徒総会、生徒指導集会、全校専門委員会)</p>	<p>・今後も生徒会を中心に、生徒と教師が一緒になって、学校生活のルールや約束、校則の見直しについて考える。</p> <p>・保護者には、ホームページや学校だより、学級通信等で学校のルールや約束について周知を行う。</p>
	<p>5 <b>生徒</b>－いじめや嫌がらせ等を絶対許さないという気持ちがありますか。</p> <p><b>教師</b>－いじめや嫌がらせ等をしないための指導を行っていますか。</p> <p>【評価目標 3.5】</p>	3.2	3.2	2.8	2.5	<p>○いじめ防止講話、人権教育学習、SC講話を行い、「いじめは絶対許さない」という人権意識を高めることができた。教師と生徒の評価は高い。</p> <p>●保護者・地域の方については人権意識が浸透していないと思われるようである。</p> <p>◎人権に関する知識や人権を尊重できる意識を高めて、ふざけといじめの線引きの差がないようにする。</p> <p>※引き続きいじめのない学校であってほしい。</p> <p>(教育相談、いじめ防止講話、薬物乱用防止教室、学校生活アンケート、命の教育)</p>	<p>・保護者と学校が連携して友人関係のトラブルや欠席増加等について早めに連絡をとる。</p> <p>・保護者と「小さなサインの見つけ方」や「家庭での見守りポイント」を共有する。</p> <p>・警察等やSCの積極的な活用を行う。</p>

観点	内容（保護者の質問は教師に準じる）	教師	生徒	保護者	委員	学校意見等；（○よい●課題◎改善点） 運営委員意見等：※ （取組・行事等）	今後の改善方法等
健康・安全教育と体力増進の推進	6 生徒－自分の命を大切にしていますか。安全な生活を心がけていますか。 教師－命を大切にす指導や、危険回避能力の育成を行っていますか。 【評価目標 3.5】	3.2	3.5	3.3	3.5	○町内避難訓練を小中合同で地域の方と一緒にいった。避難後には、防災食（炊き出し）を生徒会役員が中心となり地域の方に配膳し、一緒に食べるなどの体験をすることができた。 ○避難経路（地震・津波）について危機管理マニュアルや避難経路の見直し・確認を行うことができた。 ●避難訓練にはほとんどの生徒が真剣に緊張感をもって取り組んでいたが、落ち着いた行動をとることができない生徒が数名見られた。 ◎避難してからどうするかを考える必要がある。（安全点検、情報収集、避難所の利用等） ※防災の取組は大切である。避難した後の取組や役割も含めた訓練をお願いしたい。 （いのちについて考える集会、平和学習、避難訓練（地震・火災）、町内避難訓練（防災食）、AED研修）	・地域との連携を重視した避難訓練・防災教育を行い、災害に対応する実践力を身につけさせる。 ・避難訓練の意義を十分に理解させ、真剣な態度で訓練にできるように「自分の命は自ら守り安全に行動する」ことについて指導する。
	7 生徒－学校で、健康予防対策をしっかりと行っていますか。 教師－健康予防対策をしっかりと行い、健康予防の指導を行っていますか。 【評価目標 3.5】	3.3	3.2	2.8	2.7	○保健教育（感染症予防、栄養管理、熱中症対策）を通じて、生徒は健康で安全な生活を送ることができた。 ●給食着の正しい着方や、給食着・ランチョンマット忘れについて何度も注意することがあった。 ◎全校保体給食委員会の集会活動や毎日の給食時間の取組の見直しが必要である。 ※生徒の健康な心身や生活習慣は家庭の協力が必須です。今後も学校での指導や保健だよりの配付をお願いします。 （給食感謝集会、学校保健委員会、給食指導集会、全校給食委員会、スマホ・ネット安全教室講話）	・全校給食委員会（集会活動、給食感謝集会、衛生管理の徹底）の積極的な活動を推進する。 ・食に関する正しい理解と適切な判断力を養うための指導を行う。
	8 生徒－体育的行事や部活動に積極的に取り組み、体力向上に努めていますか。 教師－体育的活動や部活動の充実を図り、体力向上に努めていますか。 【評価目標 3.5】	3.0	3.3	3.1	2.8	○保健体育の授業・部活動を中心に体力向上に向けてのプランに積極的に取り組んだ。 ○学校行事（体育大会等）は生徒のアイデアを取り入れながら行った。 ●保護者や学校評議委員は、スマホ（携帯電話）やインターネットを使用する時間が増えたことが、運動能力低下の原因ではないかと思っている。外で遊ぶことが少なくなったことも心配している。 ◎学校保健委員会を中心にスマホ・ネットが心身に及ぼす影響についての理解を深める取組が必要である。 ※部活動の先生方いつもご苦勞様です。今後も心身ともに成長をお願いします。 （部活動生集会、体育大会、中体連推戴式、新体力テスト、文化発表会、送別行事）	・スクールスポーツプランを見直して、体力づくり（体幹トレーニング、ストレッチ）に力を入れる。 ・適切なスマホの使用時間について、スマホ・ネット安全教室講話、学校だより等で継続的に周知し、正しい使い方について意識を高める。
保護者・地域に信頼される学校づくり	9 生徒－学校のHP・学級通信・学級通信等で学校の様子を確認していますか。 教師－学校は、情報発信（HP・通信等）により、学校の様子を伝えていますか。 【評価目標 3.5】	3.2	2.1	3.5	3.0	○学校だよりや安心メール、ホームページ等から積極的に情報発信を行うことができた。 ●ホームページの定期的な更新ができてなく、生徒、保護者が見る機会が少なかった。 ◎ホームページの更新はこまめに行い、掲載期限を意識させる必要がある。 ※学校から発信される通信や学校だより等の情報は役に立っている。 （ホームページ、学級通信、学校だより、保健だより、安心メール）	・ホームページの内容の見直しと、こまめな更新に努める。 ・生徒の生き生きとした学校生活の様子や、行事予定の掲載、学校経営等の情報を発信する。
	10 生徒は、ふるさと北浦を大切に、地域に貢献していますか。 【評価目標 3.5】	2.6	3.0	2.8	3.0	○地域の人材や素材を活用した授業や学校行事を展開し、北浦の新たな魅力を創出することができた。 ○地域の方と協力して、地域の行事や祭りに積極的に参加することができた。 ◎ふるさとよさについて、地域の大人たちと協働して地域貢献活動を行う機会を増やしていく必要がある。 ※地域の活動（ボランティア、祭り等）にたくさんの参加があり、地域の方とのコミュニケーションを深めることができたと思う。 （職場体験学習、修学旅行、小中合同地域清掃、子どもたちに伝えたいこと（ふるさと教育推進事業）、廃材クリスマスツリー作成、下阿蘇海水浴場清掃ボランティア、北浦花火大会ボランティア、須美江海岸清掃ボランティア、北浦スイーツプロジェクト、きたうらの海写真コンテスト）	・地域行事への参加の様子や活動内容等について、地域の方に発表する機会をもつようにする。 ・地域清掃活動や茶摘み体験学習に小中合同で取り組むことを考える。